

わさいだより

和彩便り

令和二年。
日本が一気に盛り上がる
オリンピック開催の年。
楽しい一年になりますね

2020
vol.14

FEBRUARY



迎春

HAPPY SPRING



昨年は格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も社員一同、皆様にご満足いただけるサービス心をかける所存でございますので何卒昨年同様のご愛顧を賜ります様、お願い申し上げます。皆様のご健勝と貴社の益々のご発展を心よりお祈り致します。

株式会社ケイアイ 代表 白井 亜希子

振袖キャンペーン

キャンペーン期間：2月末まで

ぜひこの機会をお見逃しなく！
詳しくは弊社サイトを
ご覧ください。

<https://www.s-keiai.co.jp>



■ 洗い張り前の検品について

弊社では、多くのお仕立て替えのお着物をあらかじめ預かりしております。弊社へ《洗い張り》または《本仕立て解き湯のし》をご注文いただく場合、基本的に**検品や採寸は致しません**。事前寸法が出来るかどうか確認されたい場合は、必ず採寸する指示を加工指示書にご記入くださいませ。その場合、採寸代といたしまして1,000円を頂戴しております。

※見本着物の寸法を測る場合も採寸代1,000円を頂戴致します。
何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

ベトナム旧正月における納期のご案内

1月末のテト(ベトナム旧正月)における工場及び税関の休業のため納期が通常よりも1週間から2週間ほどお時間を頂戴する場合がございます。

ご迷惑をお掛けしますがよろしくお願い申し上げます。

着物お仕立てちょこっと話

今回は、裾の寸法にも関係します「反物巾」の事です。

新しい振袖などは幅が1尺1寸くらいあるものも多いので問題ないのですが、昔の反物巾は9寸5分以下の物も多く、どうしても裾が1尺8寸取れません…。

そこで「巾出し」の加工をすることもありますが、ほとんど反物が仕立て前に「地づめ」をしますと結局元に戻ってしまいます。(細なことも1分、2分狭くなります)

地づめをせずに仕立てることも出来ますが、仕立て上がって少し時間が経ちますと生地が元に戻ろうと縮みますので、袋やツレの原因になり着用する際に発見されエンドユーザーさまからクレームがくるということになりかねません。ですので、仕立て前の地づめは、綺麗な仕上がりを維持するために必須であると弊社は考えます。

洗い張りしたお着物や、元々巾の狭い反物はある、ということをご理解いただき、お客様にも事前にご説明いただければ仕上がってからの問題が減らせるのではないかと存じます。ちなみにオーガンジー(レース地)などはかなり縮む生地ですのでご注意ください！

